AC/DC高低圧用検電器〔伸縮タイプ〕HSN-6A型

〔高低圧回路の検電およびケーブル等に残留しているDC電圧も検出し、高圧機器のAC,DCの耐圧試験にも用いることのできる、用途の広い、高性能の検電器です〕

■試験成績

外観・構造試験	キズ、汚れ、誤記がないこと	良
絶縁耐力および漏洩電流試験	検知子と握り部間（絶縁棒：縮）：AC20kV、1分間、100μA以下	良
	〃　（絶縁棒：伸）：AC50kV、1分間、100μA以下	良
	検知子と銘板間　：AC 4 kV、1分間、100μA以下	良
	検知子と接地線クリップ間　：AC26kV、1分間、1mA以下	良
	接地線の芯線と被覆外側間　：DC22kV、1分間、（絶縁耐力試験のみで異常の無い事）	良
動作開始電圧試験（対地間電圧）	接地線なしの状態：AC275V±50V以内（伸ばして、握り部を持ち、裸充電部に接触して）	良
	接地線を付けた状態：AC35V±7V以内、DC42V±8V以内	良
総合判定		合格・不合格

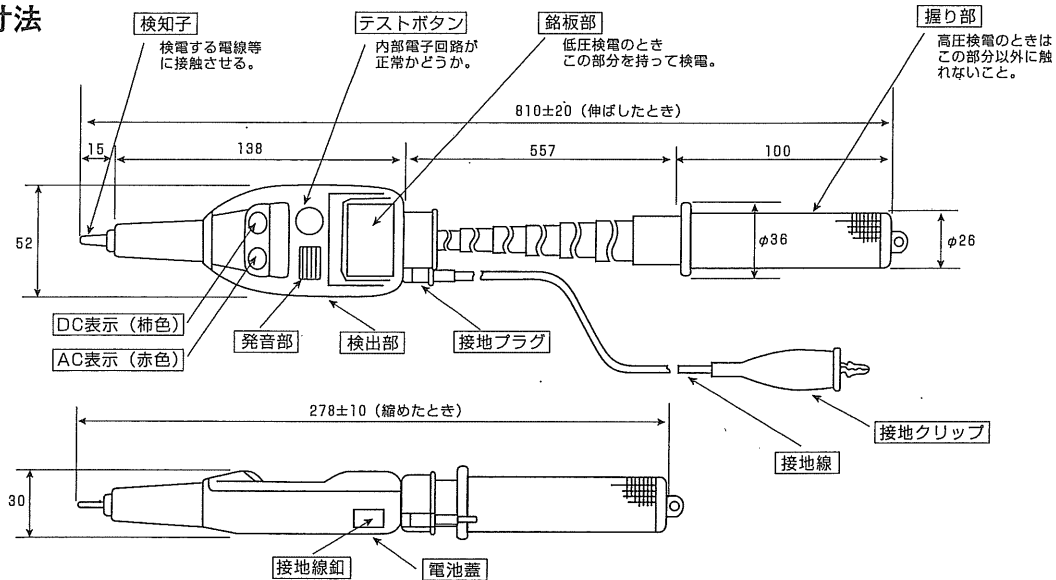
製造	2011.11

承認	担当

■定格、仕様

使用電圧範囲	接地線なしの状態	AC 3kV～7kV　（握り部を持って検電）	ＡＣ周波数	50Hz, 60Hz 両用
		AC 100V～600V（銘板に手を触れて検電）	使用温度範囲	−10℃～+50℃
	接地線を付けた状態	AC 100V～7kVおよびDC50V～7kV（※21kV）	構造	防水構造（検出部に有害な水が入らない）
動作表示	発光：AC表示ー赤色、DC表示ー柿色　8000Lx の中で確認可能		使用電池(内蔵)	ボタン形アルカリ電池、LR44（1.5V）、2個
	発音：断続音、1ｍ離れて60dB以上		付属品	プラグ、クリップ付接地線3mー1本、皮ケース、1個

※ケーブルの直流耐電圧試験にはDC21kVまで使用可能。

■構造、寸法

■使用方法と動作

対象	接地線	接触対象	検出動作	説明
高圧回路	なし、のとき	裸および絶縁電線	AC電圧のみを検出	簡便に、AC回路の充電ー停電を検電できる 〔使用電圧:AC3kVー7kV〕
	あり、のとき	絶縁電線	AC電圧のみを検出	他線からの誘導の影響が少なく検電できる 〔使用電圧:AC3kVー7kV〕
		裸充電部	AC及びDC電圧検出	AC/DC回路の充電ー停電の検電、および対地間のDC残留電圧も検電できる 〔使用電圧:AC100Vー7kV、DC50Vー7kV(※21kV)〕
低圧回路	なし、のとき	裸充電部	AC電圧のみを検出	この場合は、銘板部に手を触れて検電する 〔使用電圧:AC100Vー600V〕
	あり、のとき	裸充電部	AC及びDC電圧検出	AC/DC回路の充電ー停電の検電ができる 〔使用電圧:AC100Vー7kV、DC50Vー7kV〕

注1. 線間に接続されたコンデンサ(進相コンデンサ等)に充電されたDC電圧は、1本の検電器では検知できません。このような場合は、検電器を2本用いて各線に同時に接触させて検電するか、または、アースフックと組合わせてご使用ください。
2. 遮蔽層のあるケーブルの上からは検電できません。

■取扱および注意

検電の前に	1.	検電器本体及び接地線に傷、損傷等異常がないか点検して下さい。
	2.	テストスイッチにより、動作を確認して下さい。尚、既知の電源、検電器用試験器等で接地線も含めて動作を確認して下さい。
検電	3.	高圧の検電をするときは、危険ですから握り部以外には触れないように注意して下さい。
	4.	7kVまでは絶縁棒を縮めた状態で使用できますが、絶縁ゴム手袋を着用してください。直流耐電圧試験(7kV以上)の場合は、必ず絶縁棒を一杯に伸ばし、絶縁ゴム手袋を着用の上、使用して下さい。
	5.	接地線を使用する場合は、クリップがアースに確実に接続されていること。プラグを検電器のE端子に差し込み、抜けないことを確認して下さい。
	6.	止むを得ず雨中で検電する時は、検電器の水漏れ状態に注意し、水滴がつながるようなときは使用を中止して下さい。
携行、保管	7.	落下、下じき等、衝撃や強い力が加わらないように注意して下さい。また、路上に放置したり、自動車内の高温になる場所に置かないで下さい。また、薬品等で拭かないで下さい。
	8.	検電器は常に清潔を保ち、保管する場所は直射日光の当たらない乾燥した場所を選んで下さい。水に濡れた場合は、充分に乾燥させ絶縁性能および動作の試験を行って下さい。
電池の交換	9.	発光が暗く、音が小さくなったとき、また、動作しないときには、電池を2個とも新しい電池に交換して下さい。
	10.	電池の交換は、硬貨で電池蓋を左回しにして外し, ＋ － の極性に注意して行って下さい。極性が逆のときは動作しません。
	11.	電池はボタン形アルカリ電池 LR44 2個です。電池が粗悪なとき漏液して検電器を傷めることがありますので御注意ください。

■保守、点検

検電性能(動作)	1.	その日の使用を開始する前に、既知の電源、検電器用試験器等を用いて点検して下さい。
	2.	テストスイッチによる点検は、内部電子回路の概略と電池の点検を行うもので、随時行い、使用直前にも必ず行って下さい。
絶縁性能	3.	1年に1回程度、絶縁耐力等の定期自主検査を行って下さい。

長谷川電機工業株式会社
本社・営業部 〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江５丁目６番２０号 TEL. 06(6429)6144
東京支店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3丁目9番4号 TEL. 03(3662)2715
名古屋営業所 〒461-0044 愛知県名古屋市東区矢田東３番３７号 TEL. 052(725)6211